

# 雨の日だって楽しいことはあるのに

R4.10.25\_Tuesday\_【心を育む生徒指導通信 No6：通算 49 号】

作成者・教諭 花園修兵

外はすっかり秋色です。今年の猛暑はどこへやら・・・といった具合に朝晩は肌寒さを感じるようになってきました。体調には気を付けて生活してくださいね。

さて、今回のテーマは「**雨の日だって楽しいことはあるのに**」です。新世紀エヴァンゲリオンが好きな人なら聞いたことのあるセリフですね。私たちは普段の生活の中でいろんな思い込みによって行動していることが多々あります。そんな思い込みを一度ぶち壊してみよう！ということで今回のテーマを設定しました。

九州大学芸術工学研究院准教授 妹尾武治 氏より

## Q1「戦闘機のどこを補強する？」

第二次世界大戦のアメリカの戦闘機で、敵機から攻撃を受けて戻ってきたという機体を分析します。砲弾を受けた場所を点で表しています。このデータをベースに新しく戦闘機を作る場合、あなたならどこを補強しますか？

点の多い部分と答えた人・・・

ちょっとその思考を変えてみてください。

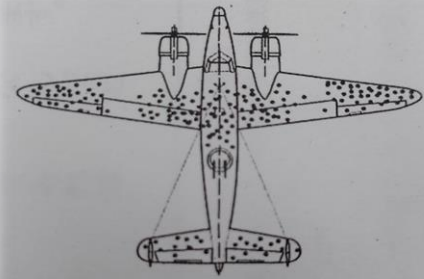
逆に操縦席やプロペラに点はありますか？

ないですね・・・なぜでしょう・・・？

そう。操縦席やプロペラをやられた機体は・・・

戻って来ることが出来なかったということです。

よって、補強すべきは操縦席やプロペラということになるわけです。



敵機からの攻撃を受けて戻った機体

このように、私たちは目の前にあるデータだけを使って、物事を理解しようとしてしまう。これを心理学用語では「**生存者バイアス**」と言うそうです。生き残った（成功した）人の情報のみを基準に判断してしまおうということです。失敗した人の言動はとても学ぶ材料になります。成功者のそれと、失敗者のそれを比較することで違いが分かってくるわけです。

## Q2「年をとると記憶力が低下する？」

次に、年をとると記憶力が低下するということがよく言われます。ある実験で、高齢者と若者に記憶力のテストをしました。「年をとっても記憶力は低下しません」という内容の架空の新聞記事を読んだ後に、若者と高齢者がテストをやると・・・正答率はほとんど差がないようです。

逆に、「年をとると記憶力は低下します」というネガティブな架空の記事を読んでテストをやると・・・高齢者の正答率は・・・下がってしまうんです。以下がテストの正答率の結果です。

○事前に記事を読まない	高齢者56%	若年者61%	ほとんど変わりません。
◎ポジティブな記事を読んだ	高齢者58%	若年者61%	ほとんど変わりません。
●ネガティブな記事を読んだ	高齢者44%	若年者59%	大きく差がひらきました。



つまり、年齢というものを頑張らない理由にできるシチュエーションを獲得した時に、人間は努力を放棄してしまうということです。

「**おとといの夜、何を食べましたか？**」と質問されて答えられず、「記憶力が落ちた・・・」と思われる方がいます。でも、実はこういうことを思い出すのは一番難しいようです。

なぜかという、これは心理学で「**逆行性マスキング**」と言って、同じことをずっと繰り返していると、それが何日前のことなのか分からなくなるものなんだそうです。一方で、好きな人と初めて手をつないだとき、失敗して悔しくて眠れなかった夜、これは思い出せるんです。だから、本当に大事なことを覚えている限り、それは「自分は衰えてない」でいいんですね。

最後に、思い込みを脱却することで自分をいくらでも変えていくことができます。新世紀エヴァンゲリオンで「**雨の日だって楽しいことはあるのに**」というセリフが出てきます。この視点を持っていれば、辛い時でも、いいことがあるというか、辛い中でも面白いことを見つけられます。

皆さんも思っているその思い込み、一度脱却してみませんか。

